

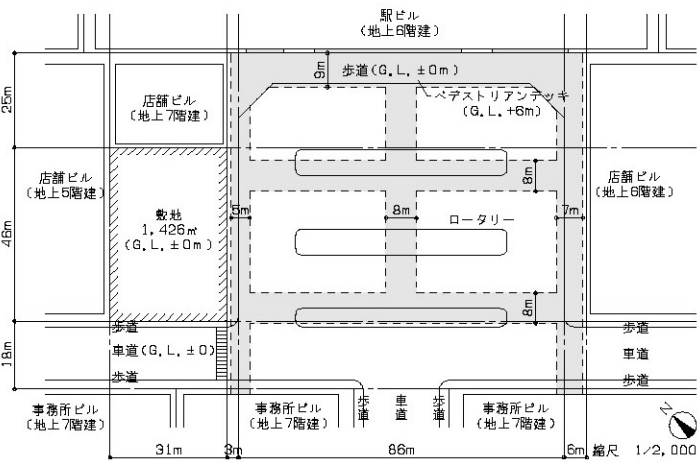
設計条件

この課題は、ある都心近郊の地方都市の市街地の駅前において、出張者等の利便性に配慮した「ビジネスホテル」と、地域住民及びホテル宿泊者が利用できる「フィットネスクラブ」からなる複合施設を計画するものである。またこの建築物は、2階において、駅前ロータリー上のペDESTリアンデッキからもアクセスできるようにし、公共交通機関を利用する施設使用者が、利用しやすい計画とする。

計画に当たっては、特に次のことが求められている。  
 1階及び2階のエントランスホールは、2階でペDESTリアンデッキと、1階で歩道とそれぞれ接続され、常時自由に入出りできる計画とする。共用部門は、防犯・セキュリティに配慮した計画とする。  
 ビジネスホテル部門、フィットネスクラブ部門及び共用・管理部門の異なる機能を適切にゾーニングした計画とするとともに、各部門の動線に配慮した計画とする。  
 なお、ビジネスホテルとフィットネスクラブの管理主体は一つである。  
 高齢者、身障者等の利用に配慮した計画とする。  
 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画する。  
 建築物の環境負荷低減に配慮した計画とする。

1.敷地及び周辺条件

- (1) 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。  
 北東側 - 店舗ビル(地上7階建)がある。  
 南東側 - 歩道(幅員3m)を挟んでロータリーがあり、鉄道駅とバス乗降場へと続くペDESTリアンデッキ(幅員5m)がある。  
 南西側 - 道路(幅員18m)を挟んで事務所ビル(地上7階建)がある。  
 北西側 - 店舗ビル(地上5階建)がある。
- (2) 敷地は、平坦で、周辺道路及び隣地との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所あたり6mまでできるものとする。
- (3) 敷地は、商業地域及び防火地域に指定されている。  
 また、建ぺい率の限度は90%(特定行政庁が指定した角地における加算等を含む。)容積率の限度は400%である。  
 なお日影による中高層建築物の高さ制限および天空率に関する規定は考慮しないものとする。
- (4) 電気・ガス及び上下水道は、完備している。
- (5) 地盤は、良好であり杭打ちの必要はない。
- (6) 気候は温暖で、積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



(注1) 部分はペDESTリアンデッキを示す。レベルはGL+6mとする。  
 (注2) トリアンデッキの階段、エレベーター、エスカレーターは省略している。

2.建築物

- (1) 地下1階、地上6階建ての1棟の建築物とする。  
 構造は、ラーメン構造による鉄筋コンクリート造とし、一部他の構造としてもよい。ただし、その場合は「2.計画の要点等の「構造計画について特に配慮したこと」にその理由を記入する。
- (2) 床面積の合計は、5,500㎡以下とする。この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段等は、床面積に算入しないものとする。なお、地下の駐車場の計画はしなくてよい。
- (3) エレベーターについては次のとおりとする。  
 イ. エントランスホールに1基(地下1~2階)  
 ロ. ビジネスホテル部門の利用者用に2基(2~6階)  
 ハ. フィットネスクラブ部門に1基(1~2階)  
 ニ. ビジネスホテル部門等のサービス用に1基(1~6階)
- (4) その他設備(空調機・衛生設備、電気設備)については、適切に計画する。

3.その他の施設等

- (1) 利用者駐車場は、地階に設けるものとする。  
 地階駐車場へのアプローチ車路は幅員5.5m以上、傾斜部の縦断勾配1/6以下はり下の高さ2.3m以上とする。
- (2) サービス用駐車場を地上に2台分設ける。また、従業員用の駐車場は、近隣の契約駐車場を利用するものとし、考慮しなくてよい。
- (3) 駐輪場は、近隣および駅前公共駐輪場を利用するものとし、考慮しなくてよい。
- (4) (1、2)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4.所要室

下表の室は、すべて計画する。

部門	室名	床面積	設置階	特記事項
ビジネスホテル部門	客室 シングル (計48室)	計約720㎡	3~6階	・各階に12室設ける。 1人部屋(約15㎡/室)とする。
	客室 ツイン (計40室)	計約960㎡	3~6階	・各階に10室設ける。 2人部屋(約24㎡/室)とする。
	客室バリアフリールーム (計4室)	計約160㎡	3~6階	・各階に1室設ける。 ・2人部屋(約40㎡/室)とする。
	リフレッシュルーム	適宜	3~6階	・疲労回復に利用できるマッサージチェアを設ける。
	自販機コーナー	適宜	3~6階	
	リネン室	適宜	3~6階	
	ロビー	適宜	2階	・ラウンジ(約30㎡)を設ける。 ・エントランスホールからアクセスする。
フィットネスクラブ部門	フロント	約40㎡	2階	・受付カウンター、クロック、物品庫を設ける。
	トレーニングマシンルーム	約100㎡	1階又は2階	・各種運動器具を利用してトレーニングを行う。
	浴室	計約160㎡	1階又は2階	・男性用、女性用として2室(約80㎡/1室)を設け、それぞれに浴室、脱衣・更衣を設ける。 ・脱衣・更衣にはシャワー、便所、ロッカーを設ける。 ・トレーニングプールへの動線に配慮する。
	トレーニングプール	約100㎡	1階又は2階	・水中歩行用プールとし1周約20m程度を設ける。 ・ジャグジーを設ける。 ・天井高4m以上とする。
	受付ホール	適宜	1階	・エントランスホールからアクセスする。 ・販売コーナー(約20㎡)を設ける。
	フィットネス事務室	約20㎡	1階	・フィットネスクラブ部門利用者の入退館管理を行う。
	測定相談室	約15㎡	1階	・フィットネス事務室に隣接して設ける。
共用・管理部門	レストラン	約200㎡	1階又は2階	・カウンター・テーブル・イス等を設ける。 ・厨房及び便所を設ける。 ・物品の搬出入動線に配慮する。
	<簡易託児所>			・子育て世帯の外出時に、気軽に利用できるものとする。 ・裸足利用に配慮する。ベビーカー置場を設ける。 ・プレイルームには幼児コーナーを設ける。
	プレイルーム おやすみ室 託児所事務室 応接室 幼児用便所	約60㎡ 約20㎡ 約15㎡ 適宜 適宜	1階又は2階	・託児所事務室には受付カウンターを設ける。 ・応接室は託児所事務室に隣接して設ける。
	コンビニエンスストア	約100㎡	1階又は2階	・外部からも直接アプローチできる。 ・物品の搬出入動線に配慮する。 ・カウンターを設ける。
	エントランスホール	適宜	1階及び2階	・吹抜(40㎡以上)を設ける。 ・風除室を設ける。 ・地域住民の活動を展示する地域活動展示コーナー(約30㎡)を設ける。
	守衛室	約10㎡	1階	・施設スタッフの出退勤管理を行うとともに、業者の物品搬出入管理を行う。
	スタッフ更衣休憩室	適宜	1階又は2階	・ビジネスホテル部門、フィットネスクラブ部門にそれぞれ専用で男女別に設ける。
	ゴミ置場	適宜	1階	
	荷さばきスペース	適宜	1階	・物品の搬出入動線に配慮する。
	仮眠室	適宜	1階	・守衛室から出入りする。
電気・機械室	約250㎡	地下1階	・ドライエリアを設ける。	
便所・倉庫は適切に設ける				

(注) 上記の床面積の合計(地下1階及び適宜を除く。)は、約2,680㎡となる。

要求図面等

設計製図の答案用紙の定められた枠内(寸法線は枠外でもよい)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1.要求図面

下表により所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい)必要な事項を記入する。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 1階平面図兼配置図 1/200	建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度)を記入する。室名等を記入する。 パイプシャフトの位置を図示し、PS、DS等と記入する。 1階平面図兼配置図には、次のものを図示する。 イ. 断面図の切断位置 ロ. 建築物の出入口 ハ. 地下1階 電気・機械室の位置(点線で範囲を示す。) ニ. ドライエリアの位置 ホ. 地上駐車場(台数及び出入口を明示する。) ヘ. 通路・植栽等
(2) 2階平面図 1/200	フロント、トレーニングマシンルーム、浴室、トレーニングプール、フィットネス事務室、レストラン、プレイルーム、おやすみ室、託児所事務室、コンビニエンスストアの床面積を記入する。 客室については次のものを図示する。 イ. 代表的なシングル1室、ツイン1室の室内プラン及びその床面積 ロ. シングルの表示(S1,S2...)・ツインの表示(T1,T2...) ハ. バリアフリールームの室内プラン、床面積および室表示 ニ. 各客室の出入口、設備シャフト
(3) 基準階平面図(3~6階) 1/200	エントランスホールの吹抜けとなる部分を図示し、面積を記入する。 基準階平面図は3階とする。 直下階の屋根、庇等となる部分は図示する。
(3) 断面図 1/200	切断位置は、エントランスホールを含み、建築物の全体の立体構成(地下1~6階)及び屋根の形状がわかる断面とする。 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。 はり及びスラブの断面を図示する。なお基礎は図示しなくてよい。

2.計画の要点等

次の ~ について、計画の要点等を記述する。なお、要求図面に該当箇所があれば、引出し線等により補足して明示する。  
 建築計画(ゾーニング、セキュリティ、動線等)で特に配慮したこと。  
 構造計画(構造種別等)について特に配慮したこと。  
 設備計画で採用した空調方式とその理由。  
 建築物の環境負荷低減(省エネルギー、熱負荷の抑制)に特に配慮したこと

3.面積表

地上1~6階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。